

## □ 要請番号 (JL42418B10)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ヨルダン	G157 日本語教育		個別	新規	2年	・ 2019/2



## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

高等教育省

## 2) 配属機関名 (日本語)

ヨルダン大学外国語学部アジア言語学科

## 3) 任地 (アンマン) JICA事務所の所在地 (アンマン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

1962年に設立されたヨルダンで最も歴史ある国立大学で、18学部、大学院及び専門機関を有し、約4万人の学生が在籍する。外国語学部はアジア、ヨーロッパ、言語、仏語仏文、英語英文の5学科で構成されている。日本語コースは1993年に開設され、外国語学部の第三外国語必修選択科目として現在2名のボランティアが初級1~3の授業を提供している。長年日本語専攻設立を目指してきたが、日本政府・ヨルダン大学双方の諸条件が整わず実現していない。しかし、全学部対象の日本語科目が開講されるなど、ここ数年受講者数が増加しており、日本語や日本文化に興味をもつ学生に貴重な機会を提供している。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

ヨルダン大学にて日本語コースが開講されて以来、授業を含むコース運営を支援するため、ボランティアが継続的に派遣されてきた。現在20年以上が経過し、長年学習してきたヨルダン人が、ボランティアのもう一箇所の活動先であるJICA帰国研修員同窓会(JAAJ)にて初級授業を担当するに至っている。その現状を踏まえ、今後はさらに指導者育成に焦点をあて、新たに、ヨルダン大学での中級コースを担当できる指導者育成及び、大学・JAAJでの日本語コース運営・管理を一任できる教師育成が必要とされている。現地人教師は、将来ヨルダン大学の日本語コースの常勤講師となることが期待されており、そのためJAAJにおいては中・上級クラスも開講し、学習者数の増加・レベルアップを目指していく。ボランティアは教師育成を主軸に、大学とJAAJの授業を行い、日本文化紹介イベントや日本語弁論大会の開催も期待されている。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 若手教師に対し日本語教授能力を向上させ、初級及び中級授業を担当できるよう育成する。
2. ヨルダン大学において日本語コースの運営を行う。一学期(4か月)につき、初級1-3のコースを開講し、各コース40時間ほどの授業を実施するほか、試験、成績評価を行う。
3. JAAJにおいて中級日本語コースの授業を担当する。一学期(3か月)につき、4-6のコースを開講し、各コース24時間の授業を実施するほか、会話クラブなど学習意欲向上のためのイベントを実施する。
4. 日本語弁論大会の準備、運営、大会参加者への指導を行う。開催に当たっては日本国大使館とヨルダン大学との調整を行う。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

使用教材: 『にほんご45じかん』 『にほんごつぎの45じかん』、eラーニングサイト:日本語らくだ、絵カード:新日本語の基礎、げんき/プロジェクター使用

#### 4) 配属先同僚及び活動対象者

##### 【ヨルダン大学】

- ・アジア言語学科長(女性/トルコ語トルコ文学博士号取得者)
- ・外国語学部生(男女/各コース10～20人程度)、他学部生(男女/30～40人程度)

##### 【JAAJ】

- ・現地人日本語教師(男性2名、女性3名/経験1年～6年)
- ・学習者(男女/10～20代が中心/各コース5～20人程度)

#### 5) 活動使用言語

アラビア語

#### 6) 生活使用言語

アラビア語

#### 7) 選考指定言語

### 【資格条件等】

[免許]：(日本語教育に関する資格)

[学歴]：(大卒) 備考：大学生を指導するため

[性別]：( ) 備考：

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：現地教師育成が求められるため

#### 任地での乗物利用の必要性

不要

### 【地域概況】

[気候]：(地中海性気候) 気温：(0～40℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

### 【特記事項】

現在もヨルダン大学では教師育成を含む初・中級授業を担当しているボランティアが活動しており、直接の前任者とはならないが、派遣された際には協力して二名体制で活動する予定。